

Title	某大学工学部中央試験所の運営システムに関する一考察
Sub Title	
Author	原邦夫(Hara, Kunio) 高橋吉之助
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1979
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001979-0048

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

No. 7948

学生氏名	原 邦 夫	主査	高 橋 吉之助	教授
	(慶應義塾)	副査	伏 見 多美雄	教授
所属ゼミナール	高 橋 吉之助 研		柴 田 典 男	助教授

某大学工学部中央試験所の運営システムに関する一考察

最近における学校法人の財政状態は、依然として厳しいままにある。従って限られた人、物、金の経営資源をいかに効率よく配分するかが課題となっている。

某大学工学部には、受益者負担で運営されている中央試験所がある。ここでの業務は、工学部の研究、教育の充実のために、各設備、装置などにより各種試験、工作などを行なっている。

ここにおいては、中央試験所に導入すべき設備の決定基準、作業単価の算出基準、予算上の責任範囲、技術職員の作業意欲の確保などの問題が顕在し、また潜在していると思われた。

そこで、非営利法人において、受益者負担で運営されている部門の効率的な運営システムはいかにあるべきかという点から、中央試験所に対するケース・リサーチを行なった。

リサーチの具体的な方法は、まず第一に中央試験所の歴史的分析、そして現状分析を行ない、さらに、工学部教員に対して行なった中央試験所に対するアンケート調査の分析を行なった。そして、次にそれらの分析から、中央試験所の抱えている問題点を確認し、最後に解決すべき問題点の立案を行なった。